

☆欧州視察団出発へ

☆中野理事長・代表選出馬

☆全国理事会開かれる

第93号 2002年9月1日

(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

民社

発行 民社協会

編集発行人 田中 慶秋
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号
第5須賀ビル6階
TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行
E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp
購読料 年間 1,000円
(会員の購読料は会費の中に含む)

政策研究フォーラム・欧州視察団出発へ

民社協会は、政策研究フォーラムに対し、これからの時代に相応しい政治・政策理念を求めて、その研究を委託した。

政研フォーラムではフォーラム内に、加藤秀治郎（東洋大教授）を委員長とする「改革理念研究委員会」を設置し、今後2年にわたる新理念の研究を開始。

その一環として、8月下旬から10日間の日程で、川野辺裕幸氏を団長とし、イギリス・スウェーデン・ドイツを訪問、現地調査を行う。

「改革理念研究委員会」では、英国労働党ブレア政権の「第三の道」やドイツ社民党シュレーダー政権の「新しい中道」等の動向などを視察・調査し、学者・政治家のインタビューにより、日本での改革の理念を探る示唆を得る。

「福祉研究委員会」では、上記三国の医療・介護の複合施設と在宅介護拠点を訪問し、福祉のIT化による地域ネットワークづくりを含めた、包括的な福祉ミックスの先進事例を調査するとともに、政府・政党・現地大使館員との意見交換を計画して成果が期待される。

視察団構成メンバー（順不同）

「福祉研究委員会」

- 丸尾 直美（尚美学園大学総合政策学部教授）
- 川野辺裕幸（東海大学政治経済学部教授）
- 梅澤 昇平（尚美学園大学総合政策学部教授）
- 下開 千春（ライフデザイン研究所）
- 柴 慎一（全郵政労組）
- 山崎 一郎（味の素労組）

「改革理念研究委員会」

- 加藤秀治郎（東洋大学法学部教授）
- 谷藤 悦史（早稲田大学政治経済学部教授）
- 柳沢 光美（ゼンセン同盟）
- 本田 敏一（CSG連合）
- 佐藤 良雄（電力総連）
- 鎌滝 博雄（友愛連絡会）

「民社協会」

- 米澤 隆（会長）
- 伴野 豊（理事）
- 富田 健治（副理事長）

全国理事会開催される



全国理事会審議模様

去る7月22日(月)14時より、友愛会館（東京）において、役員・理事約46名が参加して全国理事会が開かれた。

会議は田中専務理事の司会（進行）で始められ、米澤会

長、中野理事長、鎌滝副理事長（友愛連絡会）の挨拶の後、報告事項として、①本部の活動状況について、②終盤の国会報告、③ブロックの活動について、が報告された。

特に③について、会員減少による財政問題、統一地方選挙対策（体制づくり・推薦作業・新人議員候補者発掘作業）等についての取り組みが各ブロック担当理事から報告され、了承された。

協議事項では、来春の統一地方選挙への取り組みとして、国政選挙を含めた「選挙対策委員会」を設置、必勝体制でのぞむこと等が確認された。役員は下記のとおり。

委員長 平田 健二
副委員長 今泉 昭 鎌滝 博雄
事務局長 田中 慶秋

中野理事長・民主党代表選に出馬

一支援を決定—

民社協会は、8月7日(水)午後4時から、衆院議員会館において常任役員会を開催した。

出席者は、米澤会長・中野理事長・玉置理事長代行・中井・今泉・名取・鎌滝副理事長・田中専務理事・中田常任顧問・事務局2名の計10名。

常任役員会は、米澤会長の挨拶で始まり、田中専務理事が司会・進行を務めた。

報告事項では、①通常国会閉会について、②「政研21」の開催状況などについて、報告・意見交換を行い、了承した。協議事項では、当面する以下の問題について協議した。

- ①「日婦の会」への助成金交付の件
 - ②抜山映子氏監事辞任の件
 - ③欧州視察団派遣について
 - ④「地方議員研修会」について
 - ⑤民主党代表選挙について
- その結果、

①については、協会の財政状況を考慮して、前年度より一部減額して交付することを了承。